

第6回練馬区地域福祉・福祉のまちづくり 総合計画推進委員会

- 1 日時 令和2年1月30日(木)：午後3時30分～午後4時20分
- 2 場所 練馬区立区民・産業プラザ3階 ホール(東側)
- 3 出席者 【委員】
石川委員、今井委員、浦嶋委員、川井委員、河島委員(代理)、佐藤委員、清水委員、高橋委員、田中委員、千葉委員、中村委員、増田委員、森山委員
(以上13名)
【区出席者】
福祉部長、福祉部管理課長、生活福祉課長、地域振興課長(代理)、協働推進課長(代理)、建築課長
- 4 公開の可否 公開
- 5 傍聴者 3名
- 6 議題
 - (1) 開会
 - (2) 区民意見反映制度の実施状況について
 - (3) 練馬区地域福祉計画(案)について
 - (4) 今後のスケジュールについて
 - (5) 閉会

委員長 定刻になりましたので、第6回練馬区地域福祉・福祉のまちづくり総合計画推進委員会を開催いたします。はじめに、事務局から委員の出席状況、また、この会議の情報公開について報告をお願いします。

事務局 はじめに、委員の出席状況についてご報告いたします。現在13名の委員に出席いただいております。

次に、本日の会議は公開となっております。会議の議事録につきましては、区のホームページに掲載する予定です。記録がまとまり次第、委員の皆様にお送りしますので、確認をお願いいたします。

委員長 次に、事務局から、配付資料について、説明をお願いします。

事務局 配布資料の確認をさせていただきます。本日配布させていただいたのは、次第のほか、資料1「練馬区地域福祉計画(素案)に寄せられた意見について」、資料2「練馬区地域福祉計画(案)」、資料3「今後のスケジュール(予定)」です。資料の配布が当日となり大変申し訳ございません。配付資料については以上です。

委員長 それでは、次第の2番、区民意見反映制度の実施状況について、説明をお願いします。

事務局 それでは、資料1により、練馬区地域福祉計画(素案)に寄せられた意見について、ご説明いたします。

1番の意見の募集等をご覧ください。(1)区民意見反映制度は、昨年12月11日から1月17日まで意見を募集し、12名の方からご意見をいただきました。(2)関係団体への説

明では、146名の方にご参加いただきました。

2番の寄せられた意見をご覧ください。意見の総数は48件で、内訳は施策ごとに件数を示しております。寄せられた主な意見を口頭で紹介させていただきます。施策1には、地域における助け合いの輪を広げ、区民同士の横のつながりをつくる団体があるとよいなどの意見をいただきました。施策2には、障害のある方などが住居差別なく賃貸住宅に入居できるよう、相談窓口を周知してほしいなどの意見をいただきました。施策3には、公園や図書館などの誰でもトイレに大人用ベッドを設置してほしいなどの意見をいただきました。施策4には、エスカレーター利用者に対して乗り方マナーの普及啓発をしてほしいなどの意見をいただきました。施策5には、成年後見制度の費用負担など利用者に関すること、市民後見人、親族後見人、法人後見に対する支援、ケースの振り分けなど中核機関に関する意見を多数いただきました。施策5が21件と多くなっているのは、弁護士などの専門職の方々からまとめて16件の意見をいただいていることによるものです。なお、寄せられた意見等の詳細については、3月中旬にホームページで公開する予定です。説明は以上です。

委員長 寄せられた意見の総数は48件ですが、関係団体への説明の中で出た意見については反映されていないと理解していいのでしょうか。

事務局 関係団体への説明の中で出た意見も含めて合計48件となっております。

委員長 区民意見反映制度の実施状況について、何かご意見やご質問はございますか。それでは、次に、次第の3番、練馬区地域福祉計画(案)について、説明をお願いします。

事務局 それでは、資料2により、練馬区地域福祉計画(案)について、ご説明いたします。計画(素案)からの主な変更内容をご説明いたします。

最初に、19ページの(3)「つながるカレッジねりま」へのリニューアルでは、事業のタイトルを「つながるカレッジねりま」の実施から「つながるカレッジねりま」へのリニューアルへ変更しております。また、下から3行目の後半、受講生が地域で活躍できるよう、町会・自治会やNPOなどとのマッチングを進めるため、区民協働交流センターに「つながる窓口」を設け、体制を強化します。現在の検討状況に合わせ、つながる窓口を設ける旨を追記しております。

次に、20ページの(1)練馬こどもカフェの開設では、上から5行目の中ほど、今後、地域の実情に応じて、実施店舗を拡大します。こちらも、現在の検討の状況に合わせ、今後拡大していく旨を追記しております。

次に、21ページの(2)街かどケアカフェの充実では、上から6行目、イートインスペースや待合室を活用して、栄養講座やおくすり講座などを行います。出張型街かどケアカフェで実施する内容を追記しております。

次に、28ページの取組項目1「包括的な支援を推進する」では、上から4行目、福祉・保健の窓口改革として、複合的な課題に対応する寄り添った支援体制づくりを進める旨を追記しております。こちらも、現在の検討状況に合わせ、内容を追記しております。

次に、同じページの(1)福祉・保健相談窓口を調整するコーディネーターの配置は、事業を新設しております。複合的な課題を抱える方が多いため、新たに設置する練馬総合福祉事務所の連携推進担当がコーディネーターとなり、多機関協働のノウハウを有する生活サポートセンターとともに各相談窓口の役割分担・サービス内容を調整し、最適な支援

プランを作成します。各相談窓口は、プランに基づき、継続して支援を行います。コーディネーターは進捗管理やモニタリングを行い、必要に応じて新たなプランを作成します。29ページには、支援体制のイメージを載せております。

次に、29ページの(2)関係機関の連携強化では、上から2行目の後半、四つの福祉事務所ごとに調整困難ケースへの対応事例合同研修会を開催する旨を追記しております。30ページの主な相談窓口一覧に、学校教育支援センターとこども発達支援センターを追記しております。

次に、31ページの(3)福祉・保健相談窓口でのアウトリーチ支援の充実は、事業を新設しております。上から4行目、医療や福祉サービスにつなぐアウトリーチを充実するため、保健相談所の地域精神保健相談員を増員します。こども発達支援センターの支援員が、外出困難な重度障害児の居宅を訪問し、療育を行う「居宅訪問型児童発達支援事業」と、幼稚園や保育園等を訪問し、障害児本人へのサポートや職員への助言を行う「保育所等訪問支援事業」を開始します。32ページには、アウトリーチ事業一覧を載せております。

次に、33ページの(5)生活困窮世帯の自立支援を推進では、下から2行目、「生活サポートセンター」を、より身近で気軽に来所できるよう、練馬庁舎に移転します。また、相談の増加に対応するため、増設を検討します。現在の検討状況に合わせ、内容を追記しております。

次に、41ページの(1)より使いやすい区立施設・区立公園の整備では、3行目の中ほど、福祉のまちづくりサポーターからも意見を聞く旨を追記しております。

次に、53ページの(3)やさしいまちの情報発信では、上から3行目の中ほど、エスカレーターやエレベーターの乗り方マナーなど、やさしいまちづくりの情報発信に取り組む旨を追記しております。こちらは、寄せられた意見を反映した内容としております。

最後に、57ページの(2)地域で連携して支えるネットワークの構築では、連携体制の図の地域の関係機関の中に、保健相談所を追記しております。こちらも、寄せられた意見を反映した内容としております。

このほか、必要に応じまして文言修正をしております。説明は以上です。

委員長 31ページの(3)の福祉・保健相談窓口でのアウトリーチ支援の充実は、外出が困難な重度障害児の居宅を訪問すると書いてありますが、居宅を訪問するのではなく、居宅から外出するサポートを既に行っているのでしょうか。

福祉部管理課長 現在、通所施設であるこども発達支援センターがあります。しかし、通所することが難しい方々があり、センターの支援員が居宅の中で療育を行います。その中で通所が可能になれば、通所していただく流れをつくりたいと考えております。

また、心身障害者福祉センターでは、重度障害児のための児童発達支援事業を昨年からは開始しております。そういったところと一体的に切れ目なく、きめ細やかな対応をしていきたいと考えております。

委員長 何度も訪問してしまうと、なおさら外出しにくくなってしまうので、積極的に外に出ていく機会を多くつくっていただくことを期待しています。

福祉部管理課長 重度障害児の中には、人工呼吸器や吸引で外に出るのが困難な方々もいらっしゃるのですが、まずはそのような方々の支援を行い、子どもの発達によっては改善されることもあります。一体的に支援を行う流れをつくり、学校への通学も含め、子どもの

発達を見ていきたいと思っております。

委員長 今後のスケジュールにも関わりますが、今日、自宅に持ち帰って、意見を提出するチャンスは1週間程度でしたらあると考えてよろしいでしょうか。

事務局 資料を事前にお送りできておりませんでしたので、ご意見は2月7日まで受け付けます。

委員長 1週間程度の余裕があるとのことですが、計画(案)について、何かご意見やご質問はございますか。

委員 19ページの「つながるカレッジねりま」へのリニューアルについて、「つながる窓口」を設け、体制を強化する説明が先程ありましたが、現時点でもう少し具体的な検討がされているのであれば、お聞かせいただければと思います。

協働推進課長(代理) 現在、ココネリの隣の区民協働交流センターに窓口を設けております。窓口では普段からボランティア団体や地域活動団体への支援を行っております。この窓口を利用し、つながるカレッジの受講生と、町会・自治会など地域で活動している団体とのマッチングなどを行います。区が間に入って相性が合うところを探しながら、人と人を合わせていく形を検討しております。

委員 今の質問に関連して、既存の団体で、つながるフェスタに参加されていない団体に対するアプローチはどのように考えているのでしょうか。

協働推進課長(代理) つながるフェスタに参加されている団体と、区民協働交流センターに登録されている団体があるので、交流会を設けるなど、様々な機会を捉えて団体同士がつながれるような事業を行っています。

委員 先ほど、つながるカレッジの説明会に出席して資料を受け取っているのですが、皆さんにも配布していただけると概要がわかると思います。

協働推進課長(代理) ご用意させていただきます。

委員 出張型の街かどケアカフェについて、コンビニのイートインスペースを活用することですが、店内で飲食すると税率が高くなり問題が出てくると思いますが、いかがでしょうか。

福祉部長 消費税率改定の影響で、イートインスペースで飲食した場合と持ち帰る場合では、税率が2%変わることは承知しておりますが、そのこととこの事業に参加されるということは、それほど影響はなかったと考えております。現在、イートインスペースと待合室を活用した出張型は合計5か所で実施しておりますが、来年度は9か所に増やして実施することを考えております。

委員長 33ページの生活サポートセンターを練馬庁舎に移転することですが、来所しやすい適切な場所を確保されているのでしょうか。

生活福祉課長 まだ確定ではありませんが、階段やエレベーターのすぐ近くで来所しやすい場所の西庁舎を考えております。2階に福祉事務所があり、その上で、少しでも利便性の高い場所を考えております。

委員長 今配付された資料は見ておくだけでよろしいでしょうか。

協働推進課長(代理) 今配付したつながるカレッジねりまの受講生募集パンフレットのご説明をさせていただきます。つながるカレッジについて、5分野の総合パンフレットになっており、それぞれカリキュラム等を記載しております。2月1日から受講生の募

集を開始し、4月に開講する予定です。また、実践講座など、カレッジ以外の内容も掲載しております。特に、支援体制については、8ページにつながる窓口の内容を掲載しておりますので、参考までにご覧いただければと思います。

委員長 計画(案)について、何かご意見やご質問はございますか。

委員 名前がつながるカレッジになり、5分野に拡大されています。各コースへは入りたい方が選んで応募することになりますが、応募者はどのコースが多いのでしょうか。

協働推進課長(代理) 福祉であれば40名、防災であれば20名など、それぞれの分野ごとに募集定員があります。応募者は退職されてから地域活動を行う方が多いと思います。

委員 最近消防団の定年が70歳へ伸びて、60歳以上の方が入団したと皆さん驚いています。そういうところで学びたい方も多いのかなと感じます。そのような方々が元気に地域で活動していただけるとよいと思っております。

委員長 それでは、今の段階では計画(案)についてご了承いただいたということにさせていただきます。

次に、次第の4番、今後のスケジュールについて、説明をお願いします。

事務局 資料3により、今後のスケジュールについて、ご説明をさせていただきます。3月10日に練馬区議会に計画(案)を報告します。区議会への報告を経て3月中に計画を策定します。策定した計画は4月に公表したいと考えております。繰り返しになりますが、本日資料をお持ち帰りいただき、ご意見等がある場合は、来週の2月7日までにお寄せください。お寄せいただいたご意見は、正副委員長と協議させていただき、最終的な計画(案)として区議会に報告したいと思っております。また、資料の下段の米書きは、来年度についてのお知らせです。計画名称の変更に伴い、来年度から会議名称を「練馬区地域福祉計画推進委員会」へ改めます。来年度の会議は、今年度の取組状況の評価等を行う予定です。開催時期等につきましては、決まり次第ご案内させていただきます。説明は以上です。

委員長 計画(案)については、最終的には私と副委員長で事務局と協議させていただきたいと思っております。それと、寄せられた意見48件の中で地域福祉計画に反映できなかった意見がありましたらご紹介いただけないでしょうか。

事務局 寄せられた意見48件の対応状況については、計画(素案)にその趣旨が記載されているものがほとんどでした。先ほどご紹介しました2点につきましては意見を反映しておりますが、そのほかは計画(素案)に趣旨が記載されていたり、既に事業を実施する中で取り組んでいる内容が多く、意見を何も聞けなかったものはなかった状況です。

委員長 予定していた議題は以上ですが、年度内最後の会議ですので、これまでの感想やこれからの期待、要望など、皆様から一言ずつご発言をいただきたいと思っております。

委員 初めてこのような会議に出席させていただき、どのような会議なのか分からない中、いろいろな意見を反映していただいて本当に嬉しく思っています。特に、私はパワカレを受講していましたので、新しいつながるカレッジになり、福祉コースを残していただいたことが非常に嬉しいです。街かどケアカフェも運営しており、区としても色々な意見を反映していただいて、本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

委員 インフラの問題について、50年以上経過して直すところが相当ありますが、国の経費が相当削減されています。練馬区内にどれだけの危険な場所があるか考えると、福祉

のまちづくりの中に、インフラは大きいから入らないのだろうと思いますが、信号を一つつくるにしても、後でなかなか直りません。これから高齢者が多くなるので、そういう問題も多いのではないかと思います。また、災害も大変多くなっていて、私は少しインフラが気になっております。よろしく願いいたします。

委員 社会福祉協議会でも地域福祉計画と連携する次期地域福祉活動計画の策定を進めています。特に64ページに、社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」との連携を掲載いただき、地域福祉コーディネーターによる地域づくり、生活困窮者の自立支援事業、成年後見制度の利用促進では、区の計画と連携しながら足並みを揃えていきたいと思っています。社協の計画も皆さん応援いただければと思います。ありがとうございました。

委員 私は、公募委員で今年度から参加させていただきました。練馬区の地域福祉・福祉のまちづくりにこれだけ多くの地域活動団体や福祉団体、社会福祉協議会の皆さんが関わっていると感じました。自分としてもこの委員会にもっと積極的に関わってきたいと思っております。1年間ありがとうございました。

委員 練馬区全体の動きを見させていただいた1年だと思っております。この計画の中でも、包括の立場として関心が高いのが、地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーターの件です。それから新しく書き加えられた困難ケースの調整など、包括としては非常に密接に関わらせていただくと感じます。これからの動きとか、協働の中で一緒にさせていただきたいと思っております。また来年もよろしく願いいたします。

委員 私は、最後の2回ほど出席させていただきました。その前は前会長が出席していたので、私自身もこの会議で何が話し合われているのかよくわからず参加してきました。その中で、障害福祉のことだけを考えがちでしたが、この会議に参加することにより、多様な課題を抱えた方とか、地域で生活している様々な人との連携を非常に強く感じました。色々な方があそこの家の人はどうしているのかな、こういうことが自分にはできるけれども何か役に立つことはないかなといった、きめ細かなつながりが地域で生活する上で大きな力になっていることを感じました。また、障害のある方が高齢化しますので、法人後見について期待しています。他方、サービスがあってもサービスを使いこなせない人、地域でのインフォーマルサービス自体を知らない人もいます。このような声に出せない声をどこでキャッチしていくかは、福祉のまちづくりではとても大切なことだと思います。地域の人をきめ細かく見ていこうとすることに非常に心強さを感じました。ありがとうございました。

委員 まだ勉強不足でよくわからないところがありますので、これからもう少し勉強させていただき、それから発言させていただきます。よろしく願いいたします。

委員 この地域福祉計画に随分携わらせていただいております。この度の計画は非常に意欲的でよくできた計画だと思います。60事業もあり、細かいところまで行き届いた配慮がされている計画だと感じました。計画は、実行していただくことが必要なので、よろしく願います。

委員 私も今年度から参加し、NPO法人として、色々な方の意見が聞けて、私たちもこういう協力をしていきたい、ああいう協力もしていきたいというアイデアもたくさんいただけたのでよかったです。また、個人としては、政治学を専攻でしたので、政策がつくられていく流れを面白く拝聴させていただきました。また、委託事業者としての立

場もあり、こちらに参加されている個人の方、団体の方の意見を聞き、法人内に持ち帰り、委託事業所にできることを考えていきたいと思えます。また、今後とも区と協力して色々行っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員 まだまだ内容が十分ではない部分もあると思えます。例えば、災害時の支援とか、水害に対する問題です。福祉避難所は拡充していきませんが、避難拠点についても学校だけでは受け入れ切れない問題もございます。そのようなことをもう少し我々もかみ砕いて、具体的に活かしていきたいと思っております。

それと、社会福祉協議会と私達は車の両輪で、色々密接な関係があります。昨年からは地域福祉コーディネーターと連携するようになり、お互いに顔が見える関係をつくりはじめています。色々なボランティアの皆さんのご協力を仰ぎながら連携していきたいと思っておりますので、これからもまた、よろしくお願いいたします。

副委員長 この会議に春から参加させていただいて、当初は練馬区全体の地域福祉のグランドデザインを描くようなイメージで進んだと思えます。割と広い中身で、どのようにまとめていくのかと思っておりましたが、最後は事務局が中心となり、まとめていただいたと思えます。私は学生に福祉を教える中でよく言うのは、地域福祉計画を見なさいと言っています。児童、高齢、障害、その他の福祉系の行政計画を個別に作成されていますが、重点的な施策をまとめ、わかりやすく示す地域福祉計画はすごく重要です。地域福祉計画を見れば、その自治体の取り組む姿勢や取組内容、自治体が目指す方向がよく分かると言います。福祉全般の行政計画の最重要計画といえる練馬区地域福祉計画は、よくまとまったと思えます。私もこれは実施した方がいいと思う施策もたくさん盛り込んであり、後はこれをそれぞれの所管で具体化して実施していくことが必要です。当然、実施した後の評価なども丁寧に行っていたいただければと思えます。皆様、本当にありがとうございました。

委員長 私はバリアフリー系からこの会議に参加し、ハードとソフトを一体的に展開することは非常に重要だと思えます。その点でこの会議は非常に重要であり、どのような計画になるのかと私も副委員長と同じ感触をもっていました。結果的には、ハード面からすると、もう一歩抜け出していくと、練馬区のこれまでの努力がさらにバージョンアップするという期待もあります。これについては、ソフト面での新たな窓口改革などもありますので、区民の方々が窓口に行ったときに様々な機関が連携し、問題解決の糸口になることを期待したいと思います。現実的には何十年も連携と言いつけてきましたが、実際は難しいです。それだけ課題が多様化していますので、さらに地域福祉のあり方が問われていると思えました。

それでは、閉会にあたり、管理課長からご挨拶があると聞いておりますので、よろしくお願いいたします。

福祉部管理課長 事務局を代表しまして、一言ご挨拶をさせていただきます。本日も、色々なご意見をいただき、ありがとうございました。皆様の力をお借りして、ここまでまとめてこれたと思っております。地域福祉計画については、計画を策定することがゴールではなく、計画を実行するこれからはスタートだと思っております。そういったことから、来年度以降の検証が大事だと思っております。また、横の連携については、区民の方が具体的に実感できるようなつながり方が大事になると思っております。行政だけではできな

いのが地域福祉です。皆様と一緒に力を合わせて実行していきたいと思いますので、引き続きのご協力をお願いいたします。どうもありがとうございました。

委員長 以上で、第3期第6回練馬区地域福祉・福祉のまちづくり総合計画推進委員会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。